

第3回地域活性化戦略チーム 議事概要

1. 開催日時：2008年10月30日（木）15：00～17：00
2. 場 所：永田町合同庁舎1階
3. 出席委員：（委員50音順、敬称略）

（座長）月尾 嘉男	東京大学名誉教授
大西 隆	東京大学大学院工学研究科教授
清水 慎一	（株）ジェイティービー常務取締役
田城 孝雄	順天堂大学医学部准教授
玉沖 仁美	（株）リクルート国内旅行カンパニー じゃらんリサーチセンター客員研究員
藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク副代表 社会企業家フォーラム副代表 法政大学専門職大学院客員教授
船橋 晴雄	シリウス・インスティテュート（株）代表取締役
4. 議事次第：
 1. 開会
 2. 挨拶 鳩山地方再生担当大臣
 3. 地方の元気再生事業について
 4. 各ブロックにおける地域活性化の取組について
 5. その他
 6. 閉会
5. 議事の経過
 - 冒頭、鳩山地方再生担当大臣の挨拶の後、事務局より①地方の元気再生事業の年度末に向けての評価の実施について、②各ブロックにおける地域活性化の取組について等の説明が行われた。
 - 事務局から資料説明を行った後、それぞれについて自由討議が行われた。委員等の主な意見は以下のとおり。

<地方の元気再生事業の年度末に向けての評価の実施について>

- ・評価に当たっては、順調に効果が上がっているものの中でも、今後更なる支援が必要なもの、地域が自立して活動可能なものを区別して考える必要がある。
- ・個別事業の評価と、事業制度そのものの評価の両面が必要
- ・成功事例をモデルケースとして広く情報発信し、更には地域間で人が連携、交流できるような場が必要。
- ・資料だけでは読み取れない、中心となる人物の熱意、考え方等がわかるような方法はないか。
- ・当初の予定とは異なる道筋で、結果的に効果が上がる場合もあるので、その点は注意することが必要。
- ・観光をはじめ様々な分野があるが、共通して人の安全と安心という観点でも評価して欲しい。

<各ブロックにおける地域活性化の取組について>

○全般

- ・都市再生等の4つの事務局が1つに統合されたが、個々の施策は依然として別個で実施している感があり、方向性が見えづらい部分がある。施策の整理と、例えば地方で集中的に実施する方向性もあるのではないか。
- ・目に見える形で投資効果がわかるように、今後の状況のフォローアップが必要。

○構造改革特区

- ・特区から全国展開に至っているものも増えてきており、案件に目新しさが減っているように感じる。

○中心市街地活性化

- ・人口減少、高齢化等の流れの中で、どのように都市を縮小、再編していくのかを考え、現実的な目標数値を設定することが必要。

○次回会合は、3月上旬頃を予定。

<文責：内閣官房地域活性化統合事務局>